

「世界青少年発明工夫展」日本（愛知県名古屋市）開催について

平成 28 年 9 月 29 日
公益社団法人発明協会

公益社団法人発明協会（総裁 常陸宮殿下、会長 野間口有）は、「世界青少年発明工夫展」の 2017 年日本開催を決定いたしました。

1. 世界青少年発明工夫展について

世界青少年発明工夫展（以下、IEYI という）は、2004 年の社団法人発明協会（現公益社団法人発明協会）創立 100 周年を記念して、「世界各国の青少年が創作した発明作品の展示・コンテスト等を通じて、創造性と国際感覚を養う」目的で創設された国際イベントであり、2004 年に東京で第 1 回を開催。以後、主催国を変え毎年実施されており、例年アジアを中心とする参加国の青少年が自身の発明品を出展して、自ら来場者に作品の紹介を行い、発明くふうを通じた国際交流を図る場として盛り上がりを見せている。IEYI2017 には、20 か国から約 200 名の青少年が参加予定。

2. 日本人参加者

本イベントには、当協会が主催する以下の全国コンテスト

- ・全日本学生児童発明くふう展
- ・未来の科学の夢絵画展
- ・全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

において優秀な成績を収めた児童生徒から 10 名程度を選考して参加の予定。

3. 日程・会場

日程：平成 29 年 7 月 27 日（木）～29 日（土）

会場：名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）

※ロボカップ 2017 名古屋大会との同時開催

4. 愛知県名古屋市での開催の狙い

開催地となる愛知県は、国内でも最多となる 23 の「少年少女発明クラブ」が活動し、自治体、企業等が青少年の創造性育成に積極的に貢献している地域である。また、豊田佐吉を始めとする、偉大な発明家を数多く輩出し、今もその精神が根付く「ものづくり地域」でもあることから、本展の開催地として相応しく、特に海外から参加する発明奨励団体等へも大いに刺激となることが期待される。

加えて、名古屋市において開催するロボカップとの同時開催により、国際的な青少年の創造性育成・科学技術への興味喚起等での相乗効果が期待される。

5. 過去の開催実績

開催年	主催国・地域	開催地
2004	日本	東京都中央区
2005	マレーシア	クアラルンプール
2006	インド	ニューデリー
2007	インドネシア	ジョグジャカルタ
2008	台湾	台北
2009	ナイジェリア	アブジャ
2010	ベトナム	ホーチミン
2012	タイ	バンコク
2013	マレーシア	クアラルンプール
2014	インドネシア	南ジャカルタ
2015	台湾	新北
2016	中華人民共和国	哈爾濱
2017	日本	愛知県名古屋市

2011年はタイの洪水により延期

【問合せ】

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

TEL 03-3502-5434 FAX 03-3502-3485

(担当) 前野士郎